

令和3年度 貫井中学校・学校経営方針・計画

1 教育目標の達成へ

○教育目標 ・よく考える人 ・思いやりのある人 ・実践する人

憲法、教育基本法、及びその他法規を遵守し、生徒・保護者の願いを受け止め、本校の教育目標達成のために努力する。

2 めざす学校像

- ◇基礎、基本をしっかり身に付けさせる学校
- ◇一人一人が大切にされる学校
- ◇歌声が響く学校
- ◇健康な体と豊かな心が育つ学校
- ◇保護者や地域の大勢の方々に支持される学校

3 めざす教師像

- ◇常に指導力向上をめざす教師
- ◇生徒を大切に育てる教師
- ◇生徒の心に響く言動ができる教師
- ◇常に危機意識をもってことにあたる教師
- ◇保護者や地域によりよく関わることができる教師

4 育てたい生徒像

- ◇基礎・基本を身に付け、主体的に深く学ぼうとする生徒
- ◇礼儀を大切にし、あいさつがしっかりできる生徒
- ◇自分も他人も、思いやることができる生徒
- ◇責任を果たし、進んで奉仕する生徒
- ◇夢を抱き、たくましく生きぬく生徒

5 令和3年度の重点目標

- I 学力向上
- II 健全育成
- III キャリア教育の充実
- IV 開かれた学校づくりの充実
- V 小中一貫教育を意識した小中の連携
- VI 働き方改革の推進

6 共有の精神・合い言葉・テーマ

(1) 校章の精神 自律・誠実・根気・健康

(2) 経営の合い言葉と研究テーマ

①「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を温める」

②「勤務は楽しく、サービスは厳しく」

③校内研究テーマ「自らの考えを深め、表現し伝え合う生徒の育成」

～学ぶ意欲を高める授業づくりの工夫～

7 短期・中期・長期的な目標と具体的な方策

I 学力の向上

目 標・方 策

1 教師の指導力向上と実践

- ①新学習指導要領への移行と適正な観点別評価と評価規準の工夫
- ②全教師年間1回の教科研究授業実施、講師招聘による年間3回の校内研究授業の実施
- ③深い学びにつながる基礎・基本の定着とICT(生徒のタブレット等を含む)機器を活用した実践
- ④習得・活用を意識した指導の実践
- ⑤校内研究テーマを意識した日常の実践と適切な単元での具現化

2 道徳授業力の向上

- ①道徳的実践意欲を引き出す資料やワークシートの工夫
- ②学年体制による道徳授業の推進
- ③講師招聘による年1回の校内研究授業の実施(評価の在り方)

3 各教科の特色を活かした学力補充

- ①補習、ワークシート、レポート、作文、論文、体力づくり等の課題工夫、小テストの継続
- ②家庭学習や家庭での取組、ノート指導の工夫と授業等での具体的な評価規準の提示
- ③生徒タブレットの適宜活用

4 学校地域連携事業による学力補充

- ①学習ボランティアによる夏季学力補充教室(4日間)
- ②学習ボランティアによる年間4回の定期考査前の学習教室(16日間)
- ③地域サポーターによる実験補助、調理指導、着付け指導、箏の指導、英検補助

5 読書啓発

- ①各教科による読書指導、図書室の活用、生徒の朝読書の実施
- ②図書館支援員による読書月間の設定(各学期1回、計12回程度)

II 健全育成

目 標・方 策

1 基本的な生活習慣の徹底と規範意識の高揚

- ①各学年、各クラスによるあいさつ指導を中心とした基本的な生活習慣の徹底
- ②日常生活を適宜捉えた指導、各種たより、講話による指導

2 生徒が先生に相談しやすい雰囲気づくりと悩みの受け止め

- ①安心して生徒から先生に相談ができるよう、教師による呼びかけ相談の励行
- ②悩みの相談や生徒のサインの受け止めと情報共有
- ③何でも相談アンケートの実施(年間3回)、SC心ふれあいアンケート実施と適切な対応

3 豊かな心の育成といじめの防止

- ①生徒が訴えやすい雰囲気と気持ちのキャッチ、声かけ相談の励行
- ②道徳授業の工夫と充実、人権教育プログラムの活用
- ③生徒会の呼びかけによるいじめ一掃プロジェクトへの参加

4 不登校の改善

- ①担当を中心とした状況や実態の把握と不登校生徒状況連絡票による全教員への情報提供

- ②各学年、担任、養護教諭、SC、心のふれあい相談員等複数による不登校生徒の対応
- ③居場所の適切な活用と校内規定に基づくスモールステップによる具体的な対応の実践と継続
- ④保健室、教育相談室、マイステップアップルームの適宜活用

5 部活動の計画的な実施

- ①ガイドライン遵守（平日2時間半、休日3時間半、平日1日と週休日1日の休養日設定）
- ②月間予定、年間予定の作成と生徒・保護者等への提示と情報の提供
- ③新型コロナウイルス予防・対応と生徒の健康と安全の管理、家庭との連携（同意書）

III キャリア教育の充実

目 標・方 策

1 貫井中の進路指導・キャリア教育体系の検証と改善

- ①各学年の取組資料の整理と情報共有
- ②学年ごとの取組実施後の分析と検証、改善
- ③進路指導、キャリア教育の工夫と情報の共有、提供（進路だより）

2 職業講話、職場体験学習、上級学校等の学びの充実

- ①実施後の適切な学びの振り返りと自己表現
- ②キャリアパスポートの活用と自己の学びやキャリアの振り返り

3 主権者教育の実施

- ①認知症サポーター養成講座の実施（総合／2年）
- ②社会科租税教室実施と税の作文と標語の作成、コンクール応募、選挙啓発講座実施（総合、教科／3年）

4 面談、相談、進路説明会の充実と資料提供の工夫

- ①適切なキャリア教育・進路指導資料の提供 ②進学等資料の提供 ③進路だよりの発行

5 オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ①向上心、勇気、希望を指導項目とした道徳授業地区公開講座と講演等の実施
- ②義肢講話（総合／2年）、ユニバーサルマナー教室（総合／3年）によるボランティアマインドの醸成、障害者理解
- ③オリンピック、パラリンピアン招聘による講演等の実施
- ④オリンピック・パラリンピックを意識した各教科による指導と工夫

IV 開かれた学校づくりの充実

目 標・方 策

1 学校公開の工夫

- ①学校連絡メールの活用
- ②教務部による各教科の特色ある実践紹介と学校公開のお知らせ工夫、その他

2 情報提供の充実

- ①各種だよりの発行 学校、学年、学級、保健、給食、進路、生活、小中一貫、図書その他
- ②保護者会、面談での適切な資料提供と充実

3 P T Aへの積極的な関わり

- ①各主幹教諭、各学年主任のP T A実行委員会への参加と情報提供
- ②各種委員会への全教員の参加
- ③P T A活動を通じた保護者と教員の交流と相談活動の実践
- ④P T A広報誌の作成協力

4 学校評議員会への参加

- ①各主幹教諭、各学年主任の学校評議員会参加と情報提供
- ②異動教員、その他職員の紹介

V 小中一貫教育を意識した小中の連携

目 標・方 策

1 児童生徒の交流

- ①練二、練三小児童の貫井中訪問と合唱見学、部活動体験と見学
- ②近隣小学校対象の部活動見学・体験の実施（7月～9月、年1回程度）
- ③中学校進学に向けた生徒会&部活動を紹介する「学校紹介DVDの制作」（ICT委員会）

2 共通の学習目標の設定と教員の交流

- ①小中相互の授業、研究授業の参観
- ②校区別協議を通じた児童生徒の実態把握と課題分析、教科別指導ポイント（仮）の作成
- ③可能な範囲で中学校教員による出前授業の実施（各学期1回程度）

3 保護者、地域への情報提供

- ①小中一貫クリエイターによる小中一貫教育だよりの発行
（校区別協議会の話題や様子、部活動体験見学、学校見学、制作DVDの紹介等、その他、年間8回程度）

VI 働き方改革の推進

目 標・方 策

1 年休等取得の奨励

- ①年休最低7日間取得 ②夏休5日間必取得

2 定時退勤

- ①最低週に1度、各月4回 ②担任や副担、学年、事務室の連携による実現

3 学校閉庁日の設定

- ①年間5日程度週休日と連続した設定（8/10～13、1/4）、 ②留守番電話機能の活用

4 職務の効率化

- ①学校徴収金管理システムの効率的な活用と定着
- ②C4t h等を活用した各種企画書の共有と会議等の効率化

VII 都費事務・会計年度任用職員の方々へ

- 1 配当予算等の提示、計画及び効率的な予算の執行とコストの効率化、複数の見積もり
- 2 学校徴収金管理システムの定着と効果的な活用、会計管理への指導助言
- 3 監査、情報開示に耐える諸帳簿の整理と点検
- 4 教職員の福利厚生、給与面等の情報提供
- 5 生徒の安全を考えた施設設備の点検と迅速な修繕

VIII 教職員としての職務遂行

つねに貫井中学校というチーム(組織)として行動していることを忘れないでください。地域や保護者の方々は各教職員の言葉遣いや言動、電話での対応等を貫井中学校のものとして捉え、常に我々教職員を注目しています。対応等に各自が自覚と責任をもち、職務を遂行しましょう。